

BUSINESS REPORT

2025年3月期 中間株主通信

2024年4月1日 ▶ 2024年9月30日

特集

| MP-14 | 第14次中期経営計画
VISION2027とその先の更なる100年へ
成長加速に向けた基盤構築

トップ
メッセージ

創業100周年の節目となるMP-14
グループ経営体制の推進と収益性改善を通じた
企業価値の回復と拡大

第14次中期経営計画

MP-14



第14次中期経営計画『MP-14』 は売上拡大と収益性改善の両方 に取り組みます

代表取締役 社長執行役員 兼 CEO **にしむら けん**
西村 健

株主の皆さまには平素より格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

代表取締役 社長執行役員の西村健です。当社グループは2024年4月より、第14次中期経営計画(以下:MP-14)をスタートいたしました。前中期経営計画(MP-13)は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックやウクライナ危機などによる世界的な未曾有の混乱の影響を大きく受け、日本事業の収益性の低下、そして本来我々の強みであるインドネシア事業の低迷もあり、非常に厳しい3年間となりました。しかし、将来に向けての社内での変化や取り組みなど、さまざまなチャレンジを実践してまいりました。新しい価値観を持った世代にアプローチし、マングラムとして新たなターゲットを獲得するために、未着手のカテゴリーや新たな流通に対して準備を進め、前中計の最後に「aono」「HOLIDEA」「ium」といった新ブランドを発表し、MP-14に向けてスタートを切ることができました。MP-14は、次期中期経営計画(MP-15)からスタートする次の100年を見据えた成長基盤を構築するフェーズと位置付け、取り組んでまいります。

具体的な取り組みの一つとして、グループ経営体制を推進させるためにCxO制度を採用いたしました。グループ全体最適でまず何を解決していくべきなのか、グループ全体で企業価値を最大化するためにどうあるべきなのか、グループの資本を使って連結売上を上げていくという全体最適を各CxOが考え、効率的に実現することを目的としています。

また全社横断でのバリューチェーンの抜本的見直しによる収益性の改善プロジェクトを、前期末より日本を皮切り

に始動しております。商品の適正価格、原材料の調達先、商品ごとの採算性、社内の会議体制に至るまで、社内のあらゆる部分にメスを入れ、Zero-based thinkingで社員一丸となって取り組んでいる最中です。そしてさまざまな取り組みを通じて収益性を改善させ、そこで生み出した原資を、企業価値の向上に繋がる先行投資や、株主の皆さまへの還元に充ててまいります。

東京証券取引所からの要請「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う売上の低下に起因する収益性の悪化がPBR1倍割れの最大の要因であると認識しております。そのため、MP-14に策定した財務戦略及びキャピタルアロケーションに基づいた戦略投資を実施することと、先述の収益改善を遂行することが取り組みの2つの柱となり、それを株主の皆さまに成果としてお示しすることが重要だと考えます。

MP-14の初年度である今期2025年3月期は、収益改善の取り組みのための費用発生を予定しておりますので、株主の皆さまの期待に応えるだけの利益が捻出できない計画となっております。しかし、収益改善のための構造改革をしっかりと遂行して、来期以降は開示している力強い売上高、利益のガイダンスを達成していく計画であり、MP-14の中で間違いなく企業価値は回復して拡大できると確信しております。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも格別のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年11月

第14次中期経営計画(MP-14)について

2024年4月～2028年3月

第14次中期経営計画(MP-14)は当社創業100周年に当たる2027年のありたい姿「VISION2027」の実現と、それ以降も持続的に成長するための“成長基盤構築期”という位置付けであり、従来以上にグループ経営を推進し、経済的価値と社会的価値双方の拡大による企業価値拡大を図り、最終年度には売上高、営業利益とも過去最高を目指してまいります。

MP-14

の位置付け

>>>

次の100年の持続的成長に向けた

成長基盤構築期

経営基本方針

>>>

事業

1

各事業の成長ステージに応じた構造変革

機能

2

「生活者発・生活者着」を基本とした
価値共創による新たなお役立ちの実践

経営基盤

3

グループ経営実践に向けた経営基盤の継続強化

経営基本目標

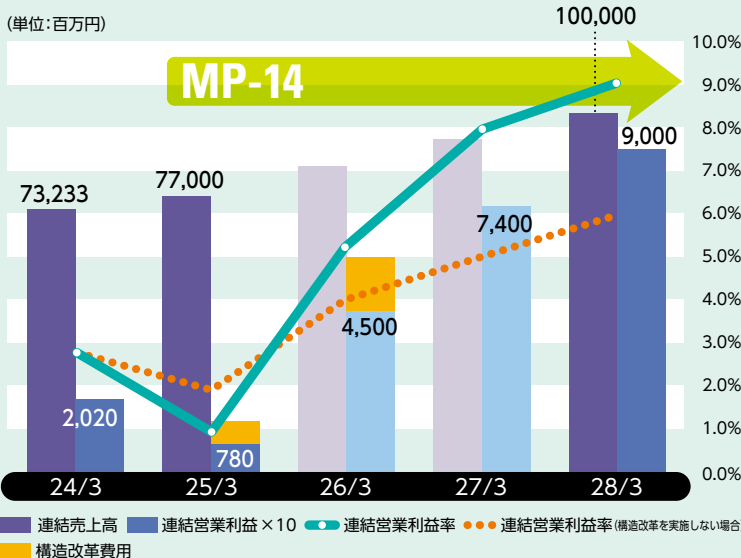
>>>

	2024年3月期	2028年3月期	平均成長率
連結売上高	73,233百万円	100,000百万円	+8.1%
連結営業利益	2,020百万円	9,000百万円	+45.3%
連結営業利益率	2.8%	9.0%以上	—
ROIC	2.92%	8.0%以上	—
配当性向	69.2%	40%以上	—

	2024年3月期	2028年3月期	平均成長率
日本事業 売上高	38,010百万円		+6%以上
インドネシア 事業 売上高	14,708百万円		+7%以上
海外その他 事業 売上高	20,513百万円		+10%以上

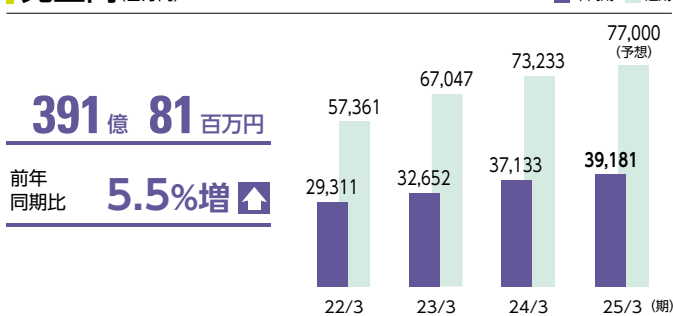
売上高、営業利益伸長イメージ

初年度の25年3月期は日本、インドネシアにおいて構造改革費用発生を見込んでおり減益計画。2年目の26年3月期より構造改革が寄与し、収益性を急回復させる。

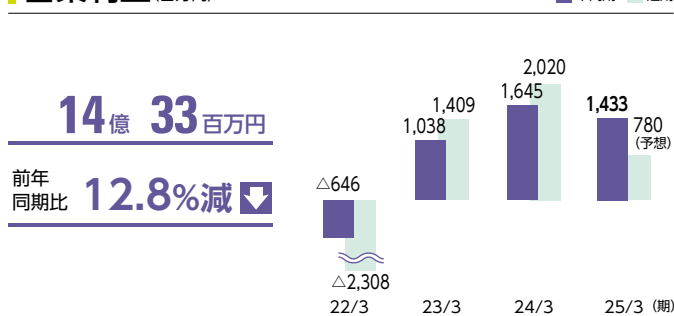


Financial high lights 中間期決算ハイライト

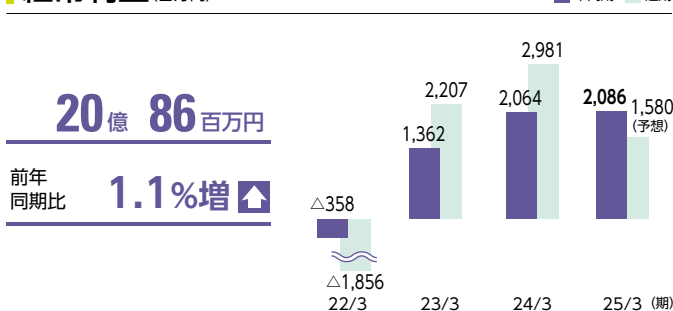
売上高 (百万円)



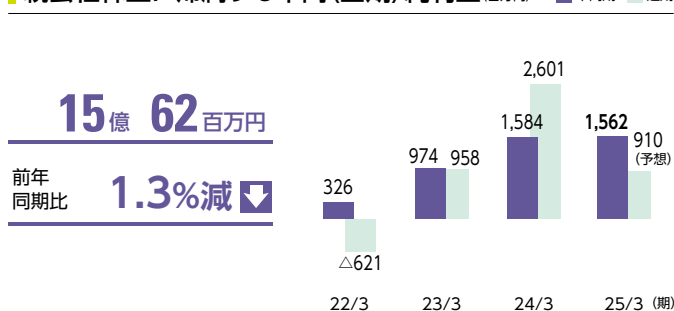
営業利益 (百万円)



経常利益 (百万円)



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)



Point

売上高 (20億48百万円増加)

日本において記録的な猛暑を追い風にして「ギャツビー」夏シーズン品が拡大したことにより、前年同期比+5.5%の増収となりました。

営業利益 (2億11百万円減少)

日本では売上高の拡大に伴い増益も、インドネシアと海外その他が減益となったことにより、前年同期比-12.8%の減益となりました。

所在地別売上高・営業利益の概況

日本

売上高

218億 24百万円 | 前年同期比 **9.5%増** ↑

営業利益

11億 14百万円 | 前年同期比 **82.7%増** ↑

「ギャツビー」夏シーズン品を中心とした売上増による粗利の増加により増収、増益となりました。

インドネシア

売上高

61億 62百万円 | 前年同期比 **6.2%減** ↓

営業利益

△6億 75百万円 | 前年同期比 **—**

前期4Qの反動により売上減に伴う原価率の上昇と粗利の減少、流通在庫の返品処理の実施により減収、減益となりました。

海外その他

売上高

111億 95百万円 | 前年同期比 **5.2%増** ↑

営業利益

10億 71百万円 | 前年同期比 **20.3%減** ↓

前期のコロナ影響からの市場のリオープンによる好業績の反動により、為替影響を除くと減収、減益となりました。

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	前期末 (2024年3月31日)	当中間期末 (2024年9月30日)
流動資産	55,960	59,683
固定資産	37,304	38,070
資産合計	93,265	97,754
流動負債	13,603	13,795
固定負債	6,454	6,717
負債合計	20,058	20,513
純資産合計	73,207	77,241
負債純資産合計	93,265	97,754

Point

資産 (44億88百万円増加)

現金及び預金の増加により44億88百万円の増加となりました。

負債 (4億55百万円増加)

支払手形及び買掛金が増加したことにより4億55百万円の増加となりました。

純資産 (40億33百万円増加)

為替換算調整勘定の増加などにより40億33百万円の増加となりました。

「ZFACE」誕生

マンダムとライザップが共同提案する「スキンケア×フェイストレーニング」の新習慣 表情にコミットする「ZFACE」誕生

「人生100年時代」と言われる昨今、現代のアップーミドル男性^{*1}の生活は多様化しており、年齢を重ねることに伴う自分の印象や表情に不安を感じているといった声も聞こえてきます。

アップーミドル男性の“印象づくり”に焦点を当て、マンダムの「大人の肌悩み^{*2}にアプローチするスキンケア」と、ライザップの「表情筋を鍛えるトレーニングメソッド」を掛け合わせ、「スキンケア×フェイストレーニング」の新習慣を共同提案いたします。

スキンケアだけでははたどり着けなかった若々しく(血色がよく、ハリのある)印象の良い表情へ導き、生涯を通じて自信に満ち溢れた人生最高の笑顔を目指して表情にコミットしてまいります。

※1 55歳～74歳の男性 ※2 乾燥によるくすみ・ハリ不足・キメの乱れ



「ビフェスタ」ブランドリニューアル

肌への優しさはそのままに、機能性を向上した新ラインアップでデザインを刷新 24年秋「ビフェスタ」ブランドリニューアル

「クレンジングは大切なスキンケアのファーストステップである」という原点に立ち返り、肌への優しさはそのままに、一部商品の機能性を向上しました。

そして多様化するライフスタイルや価値観に対応した商品ラインアップに拡充し、使うたびに肌をうるおいで満たしこころが弾むようなスキンケアブランドにリニューアルしました。

またデザインも、トレンド感のあるニュアンスカラーと、うるおいに満たされた美肌を想起させる“うる玉”（うるおいの玉）を採用し、見た瞬間に品質感と期待感が伝わるデザインへと刷新しました。

「ビフェスタ」は今までも、これからも、常に自由で新しいスキンケアシーンを提案するブランドであり続けます。



マンダムインドネシア新ラボ開設

マンダムインドネシアに新ラボ開設

現地での開発カテゴリーの拡充、開発期間の短縮を目的とした新ラボを開設し、2024年4月より稼働しています。インドネシアのローカルブランドがシェアを拡大し競争環境が激化する中で、より一層生活者視点を強化し、これから更に拡大するインドネシア・ASEAN市場に貢献できる研究開発体制を構築してまいります。



海外トピックス

台湾における「ギャツビー」夏シーズン品のサクセス

海外各国においても、外部環境や生活者の変化に合わせ、クール感へのウォンツの高まりがあり、「ギャツビー」夏シーズン品売上拡大の兆しがあります。台湾においては、店頭でのプロモーション展開を強化すると同時に、キャンペーンの実施やSNSでの発信を強化したことで、「ギャツビー」のボディペーパーやボディウォーターを始めとしたクール感の高い商品群を中心に実績を大幅に拡大しました。これを機に海外各国においても、商品の認知や使用率の拡大に向けて展開を強化し、売上の拡大を図ってまいります。



サステナ*交流コミュニティを開催

マングラムでは前期から、サステナブル経営を実践していくうえで必要不可欠な「人権」「生物多様性」「DEIB(ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン、帰属意識)」「ジェンダー」等をテーマに社内外から講師を募り、社員同士が自社の事例を交えて学ぶと同時に部署や役職を超えてディスカッションを行う、サステナ*交流コミュニティを開催しています。

サステナビリティについて深く学ぶだけでなく、普段接点の少ない社員同士が意見を交わす貴重な場として、社員も積極的に参加しています。



会社概要

[2024年3月31日現在]

社名 株式会社マングラム
本社 大阪市中央区十二軒町5番12号
設立 1927年12月23日
資本金 11,394,817,459円
従業員 619名(連結2,672名)
事業内容 化粧品、香水の製造および販売、
医薬部外品の製造および販売

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

[そのほか、必要があるときは、
あらかじめ公告して定めた日]

単元株式数 100株

株主名簿管理人
および特別口座 三井住友信託銀行株式会社
の口座管理機関

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

電話照会先 ☎0120-782-031(フリーダイヤル)
(受付時間 9:00~17:00 土日休日を除く)

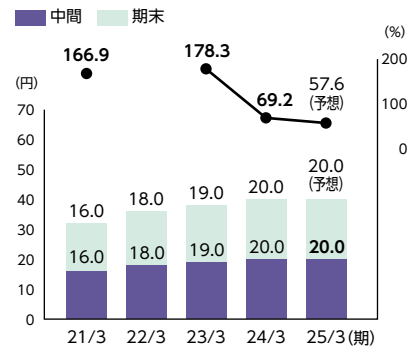
株主還元の基本方針

配当に関して

特別な要素を除いた連結ベースでの
配当性向40%以上の継続

当社は、株主還元については、配当金による安定的かつ継続的な利益還元を実施することを資本政策の基本方針とし、フリーキャッシュ・フロー、投資計画、流動性確保等を総合的に勘案、連続増配を目指す方針の下、配当金額を決定します。配当金に関する数値目標といたしましては、特別な要素を除いた連結ベースでの「配当性向40%以上」としております。

配当金と配当性向の推移



※2022年3月期の配当性向については、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

株主優待制度の一部変更のお知らせ

当社は、株主の皆さまに対する利益還元の一環として、株主優待を行っております。2025年3月31日を基準日とする株主優待より、当社株主名簿に記載された100株以上保有の株主さまのうち、継続して1年以上保有する株主さまに、当社商品詰め合わせを6月にお届けいたします。当社をより身近に感じていただくために、優待品は当社のお奨めする商品を選定しております。

※「継続して1年以上保有する株主さま」
継続して1年以上保有する株主さまとは、3月31日および9月30日の当社株主名簿に、同一株主番号で3回以上連続して100株以上の保有が記載または記録されている株主さまといたします。

	保有株式数	継続保有年数	優待内容
変更前	100株以上	—	当社商品詰め合わせ
変更後	100株以上	1年以上	当社商品詰め合わせ

当社ウェブサイトのご案内 ウェブサイトTOP ▶ 投資家情報 ▶ 株主還元
<https://www.mandom.co.jp/ir/dividend.html>

詳細は、当社Webサイトをご確認ください URL <https://www.mandom.co.jp/ir/stockinfo.html>

株式会社マングラム IR室

〒540-8530 大阪市中央区十二軒町5番12号
TEL:06-6767-5020 FAX:06-6767-5044

株式会社マングラムはISO14001(福祉工場)を認証取得しております。

IRメール配信サービス

当社のIR・会社情報をタイムリーにお知らせしております。
(会員登録はこちらから)

マングラム IR 情報 検索



UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

